

(令和3年07月05日)

< ワンポイントレッスン (理論・基礎知識) >

< 経済統計－基礎データ・1) >

6月25日、2020年に行われた国勢調査の人口速報集計結果が発表されました。

1. 我が国の人口は、1億2622万7千人(2020年10月1日現在)で2015年から86万8千人減少。5年間で▲0.7%減少、年平均▲0.14%減、2015年調査に続く減少。

2015年調査、2020年調査の人口増減率は、人口上位20か国の中で唯一のマイナスです。

2. 人口は世界で11番目、人口密度は世界平均の5.6倍。

3. 我が国の世帯数は、5571.9万世帯(2020年10月1日現在)。2015年から227万1千世帯増加、4.2%増。41都道府県で増加しました。また、2020年調査の1世帯当たりの人員は2.27人で引続き減少、すべての都道府県で減少しています。

上記が、主なポイントと思われます。

(日本の人口)

	人口	5年間の増減数	率	世帯数	1世帯当り人員
	万人	万人	%	万世帯	人
1970	10,466	545	5.2	3,037	3.45
75	11,193	727	7.0	3,372	3.32
80	11,706	512	4.6	3,601	3.25
85	12,104	398	3.4	3,813	3.17
90	12,361	256	2.1	4,103	3.01
95	12,557	195	1.6	4,410	2.85
2000	12,692	135	1.1	4,706	2.70
5	12,776	84	0.7	4,956	2.58
10	12,805	28	0.2	5,195	2.46
15	12,709	-96	-0.8	5,344	2.38
20	12,622	-86	-0.7	5,571	2.27

令和2年国勢調査・人口速報集計結果・結果の概要から作成。(千以下切り捨て)

日本は、まさに「人口オーナス」の真ただ中。「人口オーナス」とは、人口の減少や総人口に占める生産年齢人口が減少すること。逆は「人口ボーナス」と言います。生産年齢人口の低下は、生産面では技術進歩でカバーに努めますが、GDPの大きなウェイトを占める消費は、需要は伸びず完全に逆風。

2015年、2020年調査の人口増減率は、「人口上位20か国の中で唯一のマイナス」。日本経済は、ベースとして「少子・高齢化」の厳しい環境が続きます。

(了)